

スコアシート		実施設計段階						
配慮項目		環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体
Q 建築物の環境品質								3.0
Q1 室内環境					0.33		-	3.2
1 音環境				3.0	0.15		-	3.0
1.1 室内騒音レベル				3.0	0.40	3.0	-	
1.2 遮音				3.0	0.40		-	
1 開口部遮音性能				3.0	0.60	3.0	-	
2 界壁遮音性能				3.0	0.40	3.0	-	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)				3.0	-	3.0	-	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)				3.0	-	3.0	-	
1.3 吸音				3.0	0.20	3.0	-	
2 温熱環境				3.0	0.35		-	3.0
2.1 室温制御				3.0	0.50		-	
1 室温				3.0	0.38	3.0	-	
2 外皮性能				3.0	0.25	3.0	-	
3 ゾーン別制御性				3.0	0.38	-	-	
2.2 湿度制御				3.0	0.20	3.0	-	
2.3 空調方式				3.0	0.30	3.0	-	
3 光・視環境				2.9	0.25		-	2.9
3.1 昼光利用				2.4	0.30		-	
1 昼光率				2.0	0.60	3.0	-	
2 方位別開口					-	3.0	-	
3 昼光利用設備				3.0	0.40	3.0	-	
3.2 グレア対策				3.0	0.30		-	
1 昼光制御				3.0	1.00	3.0	-	
3.3 照度		会議室、事務室等の机上照度を750lx以上とする計画とした。		4.0	0.15	3.0	-	
3.4 照明制御				3.0	0.25	3.0	-	
4 空気質環境				3.9	0.25		-	3.9
4.1 発生源対策				4.0	0.50		-	
1 化学汚染物質		内装材・塗装は全てF☆☆☆☆とした。		4.0	1.00	3.0	-	
4.2 換気				3.0	0.30		-	
1 換気量				3.0	0.33	3.0	-	
2 自然換気性能				3.0	0.33	3.0	-	
3 取り入れ外気への配慮				3.0	0.33	3.0	-	
4.3 運用管理				5.0	0.20		-	
1 CO ₂ の監視				-	-		-	
2 喫煙の制御		厚木市健康増進法により喫煙が禁止されている。		5.0	1.00		-	
Q2 サービス性能				-	0.30		-	3.2
1 機能性				2.5	0.40		-	2.5
1.1 機能性・使いやすさ				2.6	0.40		-	
1 広さ・収納性				3.0	0.33	3.0	-	
2 高度情報通信設備対応				2.0	0.33	3.0	-	
3 バリアフリー計画				3.0	0.33		-	
1.2 心理性・快適性				2.0	0.30		-	
1 広さ感・景観				3.0	0.33	3.0	-	
2 リフレッシュスペース				2.0	0.33		-	
3 内装計画				1.0	0.33		-	
1.3 維持管理				3.0	0.30		-	
1 維持管理に配慮した設計				3.0	0.50		-	
2 維持管理用機能の確保				3.0	0.50		-	
2 耐用性・信頼性				3.5	0.30		-	3.5
2.1 耐震・免震・制震・制振				3.8	0.50		-	
1 耐震性(建物のこわれにくさ)		「官庁施設の総合耐震計画基準」による耐震安全性の分類Ⅱ類を採用した。		4.0	0.80		-	
2 免震・制震・制振性能				3.0	0.20		-	
2.2 部品・部材の耐用年数				3.2	0.30		-	
1 躯体材料の耐用年数				3.0	0.20		-	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔				2.0	0.20		-	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔				3.0	0.10		-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔				3.0	0.10		-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		地中埋設配管にはポリエチレン管、一般配管にはステンレス鋼管を採用した。		5.0	0.20		-	
6 主要設備機器の更新必要間隔				3.0	0.20		-	
2.4 信頼性				3.2	0.20		-	
1 空調・換気設備				3.0	0.20		-	
2 給排水・衛生設備		節水器具及び二層式の受水槽を採用し、配管系統を区分した。		4.0	0.20		-	
3 電気設備				3.0	0.20		-	
4 機械・配管支持方法		設備については「官庁施設の総合耐震計画基準」による耐震安全性の甲類を採用した。		4.0	0.20		-	
5 通信・情報設備				2.0	0.20		-	

3 対応性・更新性			3.9	0.30	-	-	3.9
3.1 空間のゆとり			4.4	0.30	-	-	
1	階高のゆとり	1階階高4,150、2階階高3,750を確保した。	4.0	0.60	3.0	-	
2	空間の形状・自由さ	壁長さ比率を0.095とした。	5.0	0.40	3.0	-	
3.2 荷重のゆとり			3.0	0.30	3.0	-	
3.3 設備の更新性			4.4	0.40	-	-	
1	空調配管の更新性		3.0	0.20	-	-	
2	給排水管の更新性	余裕のある配管ビットを設けた。	5.0	0.20	-	-	
3	電気配線の更新性	十分な天井裏空間と天井点検口を設けた。	5.0	0.10	-	-	
4	通信配線の更新性	十分な天井裏空間と天井点検口を設けた。	5.0	0.10	-	-	
5	設備機器の更新性	主要設備機器の更新に対応したマシンハッチを設けた。	5.0	0.20	-	-	
6	バックアップスペースの確保	2階屋外、2階屋根裏にバックアップスペースを設けた。	4.0	0.20	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.37	-	-	2.8
1 生物環境の保全と創出			3.0	0.30	-	-	3.0
2 まちなみ・景観への配慮			3.0	0.40	-	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮			2.5	0.30	-	-	2.5
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			3.0	0.50	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上			2.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	3.9
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	4.4
1 建物外皮の熱負荷抑制		[BPI][BPI _m] = 0.70	5.0	0.20	-	-	5.0
2 自然エネルギー利用			3.0	0.10	-	-	3.0
3 設備システムの高効率化		[BEI][BEI _m] = 0.68	4.2	0.50	-	-	4.2
4 効率的運用			5.0	0.20	-	-	5.0
集合住宅以外の評価			5.0	1.00	-	-	
4.1	モニタリング	総合監視システムにより、PDCAサイクルで環境に配慮する計画とし	5.0	0.50	-	-	
4.2	運用管理体制	運用時の定期的な設備性能検証等を行う計画とした。	5.0	0.50	-	-	
集合住宅の評価			3.0	-	-	-	
4.1	モニタリング		3.0	-	-	-	
4.2	運用管理体制		3.0	-	-	-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	3.7
1 水資源保護			3.8	0.20	-	-	3.8
1.1 節水		節水コマや少水型機器等を採用した。	4.0	0.40	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.7	0.60	-	-	
1	雨水利用システム導入の有無	雨水タンクを地中に設置し、屋外散水栓として活用する計画とした。	4.0	0.70	-	-	
2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減			3.7	0.60	-	-	3.7
2.1 材料使用量の削減			2.0	0.10	-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.20	-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		-	3.0	0.20	-	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		インターロッキングブロック、ロックウール吸音板、ビニル床シート	5.0	0.20	-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材			3.0	0.10	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		OAフロア下地や軽量鉄骨下地を採用した。	5.0	0.20	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.7	0.20	-	-	3.7
3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.30	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避			4.0	0.70	-	-	
1	消火剤		-	-	-	-	
2	発泡剤(断熱材等)	ODP=0かつGWPが低い発泡剤を採用した。	5.0	0.50	-	-	
3	冷媒		3.0	0.50	-	-	
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	3.5
1 地球温暖化への配慮		LCCO2排出率を76%とした。	3.9	0.33	-	-	3.9
2 地域環境への配慮			3.7	0.33	-	-	3.7
2.1 大気汚染防止			3.0	0.25	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善		隣棟間隔指標や屋根面対策面積率に配慮した。	4.0	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			4.0	0.25	-	-	
1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25	-	-	
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
3	交通負荷抑制	自転車置場や駐車施設、駐車場導入路に配慮した。	5.0	0.25	-	-	
4	廃棄物処理負荷抑制	廃棄庫や残菜処理室等を設けた。	5.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮			3.1	0.33	-	-	3.1
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-	
1	騒音		3.0	1.00	-	-	
2	振動		-	-	-	-	
3	悪臭		-	-	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制			3.0	0.40	-	-	
1	風害の抑制		3.0	0.70	-	-	
2	砂塵の抑制		3.0	-	-	-	
3	日照阻害の抑制		3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制			3.7	0.20	-	-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	タイムスイッチ+自動点滅器による時刻別運用を採用した。	4.0	0.70	-	-	
2	星光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-	